

【雲の峰】

いや高く上がる真木や雲の峰

岩根壽美

【夏帽子】

夏帽子香を商ふ店に入る

佐々木まき

【喜雨】

喜雨浴びて曳子は声をいや高く

安藤久美

【汗】

曳方の玉の汗こそ尊しや

佐々木まき

【打水】

打水や奥に奥ある京の家

佐々木まき

【葭障子】

葭障子越しに眺めて昔めく

近藤沙羅

【流星】

星飛んで今宵親しき東山

山田寿美子

【茄子】

水茄子の一本漬や京暑し

本谷厚子

【瓜】

冷し瓜みやこの水に冷されて

伊藤昭子

【葛饅頭】

岩倉の笹の青さよ葛饅頭

岩根壽美

季語索引(五十音別)

あ行

芦刈山(あしかりやま)

一六

汗(あせ)

二〇

暑し(あつし)

一九

綾傘鉾(あやがさほこ)

一八

霰天神山(あられてんじんやま)

一八

生稚児(いきちご)

一五

一の鉾(いちのほこ)

一七

岩戸山(いわとやま)

二〇

打水(うちみず)

二〇

瓜(うり)

一九

炎天(えんてん)

一六

大船鉾(おおふねほこ)

一六

か行

函谷鉾(かんこほこ)

二〇

喜雨(きう)

二

祇園会(ぎおんえ)

七

祇園囃子(ぎおんばやし)

七

祇園祭(ぎおんまつり)

二

菊水鉾(きくすいほこ)

一六

行者山(ぎようじゃやま)

一八

籤改め(くじあらため)

二〇

葛饅頭(くずまんじゅう)

二〇

雲の峰(くものみね)

一八

黒主山(くろぬしやま)

一八

鯉山(こいやま)

一八

こんちきちん(コンチキチン)

七

さ行

鷺舞(さぎまい)

六

鈴鹿山(すずかやま)

一八

た行

太子山(たいしやま)

一八

誰袖屏風(たがそでびょうぶ)

一〇

月鉾(つきほこ)

一五

辻廻し(つじまわし)

二二

蟻螂山(とうろうやま)

一七

木賊山(とくさやま)

一七